

全日本銅

継承

本間

丸元



ボクシング部

アマチュアボクシングの日本一を決める全日本選手権が11月に行われた。聖地・墨田区のリングに大商大からは5人もの選手が上がり、激闘の末、本間一志と丸元大五郎が3位入賞という誇らしい結果を残した。受け継がれてきた大商大の不撓不屈の精神は継承されていくに違いない。

ブロンズ

「カーン」とゴングが鳴り、「ファーストラウンド」の力強いアナウンスとともに始まる全日本ボクシング選手権大会の試合会場は、リング上の選手から観客の

声援まで、熱烈なムードに覆われていた。全日本という国内最高峰の大会だけあって、空気が全く違う。声援が、まるでリングへスパットライトを当てるように、選手へ届けられているように見えた。

そのような中、大商大の選手たちはリングで懸命に戦った。日本中から集まる強者たちを相手にして。そして結果は、大商大から2人が3位入賞という大健闘を見せた。男子ウェルター級・本間一志(公共4・札幌工業)と、

※RSC(Referee Stop Contest) 技量に差がありすぎる場合や、劣勢な競技者が過度な打撃を受けているとレフェリーが判断した場合の競技判決。

※KO(Knock Out) ダウン後10秒以内に競技ができない場合や、レフェリーがダウンした選手に異常を感じカウントを省略してリングドクターを呼び入れた場合の競技判決。

男子W級	赤コーナー	勝敗区分	青コーナー
準決勝	(東洋大・日蓮推高) 田中 空	RSC 1R:2:21	× 本間一志(大商大・北海道)
準々決勝	(大商大・北海道) 本間一志	WP 5-0	× 四宮 幸太(同志社大・日蓮推高)
1回戦	(大商大・北海道) 本間一志	WP 4-1	× 岡村 拓真(大阪大・四国)

男子L級	赤コーナー	勝敗区分	青コーナー
準決勝	(駒澤大・九州) 中山 颯太	WP 5-0	× 丸元 大五郎(大商大・関西)
準々決勝	(東洋大・中国) 梶原 嵐	WO	○ 丸元 大五郎(大商大・関西)

リベンジ

4年生で唯一、今大会本選へ出場した本間。2年生で同大会へ初出場を果たしたが、その時は準々決勝敗退だった。今回は「メダル獲得」を最低限の目標に掲げていた。そして、宣言通り男子ウェルター級で銅メダルを取った。

まず全日本選手権の予選を兼ねた9月の北海道ボクシング総合選手権大会だが、全試合RSC勝ちの優勝で実力を見せつけた。「本選に向けての勢いづけと自信につながった」(本間)と自信満々に振り返った。

次に本選だが、強者ぞろいの全日本選手権でハードルの高い1回戦を難なく突破すると、2回戦では関西学生ボクシングリーグ戦で敗れた同志社大学の四宮選手と5か月ぶりに再戦し、フルマークの5-0判定勝ちでリベンジを果たした。

しかし、準決勝へ駒を進めた本間の行く手を阻んだのが、東洋大学の田中選手である。彼らは、同じ階級故にアンダージュニアの頃からの顔見知りだった。こ



丸元国体3位

粘り強さ光る

去る10月に鹿児島県で開催された特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)ボクシング競技。成年男子ライト級で大阪府代表の丸元が熱戦を繰り広げた。相手選手から飛んでくる攻撃をかわし、弱い攻撃は両腕でガード。隙あらば、積極的に攻撃を仕掛ける。丸元の粘り強さを感じさせる試合運びだった。

2回戦は、2ラウンド2分6秒でRSC勝ち。準決勝では、3ラウンド2分5秒で失格勝ちし、優勝へ近づいた。

迎えた準決勝の相手は、大商大のエース・岡山県代表の柴田(商3・岡山商科大学附属)を2回戦で下した強敵・沖繩県連盟の興座選手。丸元は果敢に攻め、興座選手の左フックを食らいながらも反撃してゆく。だが、結果は1-4判定負けで決勝を逃した。

実は、丸元は高校2年生の秋から腰のけがでコルセット生活を送っていた。悔しいと丸元は全日本選手権を見据え静かに闘志を燃やした。

岡山県代表の柴田(商3・岡山商科大学附属)を2回戦で下した強敵・沖繩県連盟の興座選手。丸元は果敢に攻め、興座選手の左フックを食らいながらも反撃してゆく。だが、結果は1-4判定負けで決勝を逃した。

実は、丸元は高校2年生の秋から腰のけがでコルセット生活を送っていた。悔しいと丸元は全日本選手権を見据え静かに闘志を燃やした。

「悔いが残らず率直にうれしい」(本間)と微笑んだ。

次世代へ継ぐ

もう一人、銅メダルに輝いた男子ライト級の丸元。全日本選手権の大坂府代表選考会、関西プロック選考会をいずれも認定勝ちで本選出場を決めた。ライバルでもあるチームメイトの活躍に刺激を感じながら、本戦でも力が出し切れるように努力を重ね続けた。

本選では、国体3位の丸元は1回戦シードとなり、2回戦を不戦勝で勝ち上がった。

選手たちの毎日の厳しい練習と努力の積み重ねが、自身と自信を強くし、進化を遂げている。伝統ある大商大ボクシング部に根づく不屈の闘争心を、本間や丸元に見ることができた。彼らの後に続く次の世代にも継承していったほしい。そうすれば大商大の未来は、まだまだ明るい。

文/小柳治輝 (経営2・神戸野田)



全日本ボクシング選手権大会
11月21日～26日 墨田区総合体育館

「特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)ボクシング競技」

成年男子ライト級	3位	丸元 大五郎(公共3・興國・大阪府)
成年男子ライト級	2回戦敗退	柴田 隼(商3・岡山商科大学附属・岡山県)

「全日本ボクシング選手権大会」

男子フェザー級	1回戦敗退	辻 愛斗(公共3・札幌北斗)
男子フェザー級	棄権	浅井 陸(公共2・堺工科)
男子ライト級	3位	丸元 大五郎(公共3・興國)
男子ウェルター級	3位	本間 一志(公共4・札幌工業)
男子ライトミドル級	1回戦敗退	川淵 一統(公共1・興國)
男子ミドル級	1回戦敗退	川村 陸(公共1・札幌工業)

第30号

1面 ボクシング部

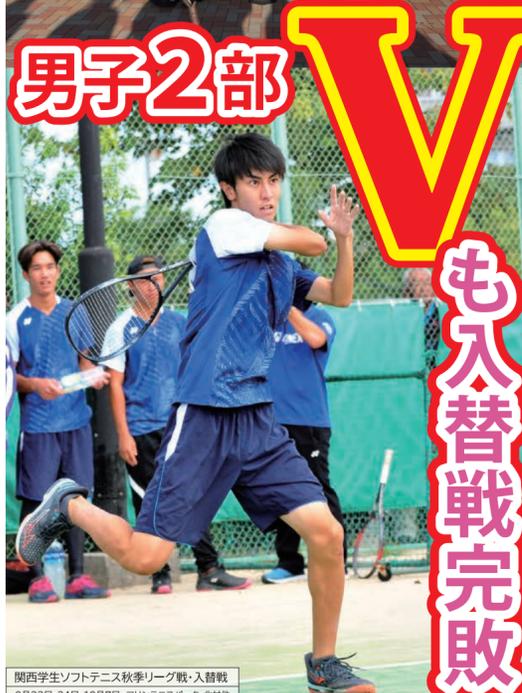
2・3面 リーグ戦・入替戦 回顧録

4面 体育会本部NEWS他

5面 ウェイトリフティング部 日本拳法部 他

6面 硬式野球部 空手道部

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校



関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦・入替戦
9月23日-24日・10月7日 マリンテニスパーク・北村橋

男子2部 V

も入替戦完敗

関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦・入替戦。男子2部は完敗し、入替戦も敗れて1部昇格を逃した。

1部4勝2敗で男子2部。入替戦では、1部との対戦が不利で、最終的に1部昇格を逃した。来季は1部での戦いを想定している。

チャンネル登録求ム! フォロー求ム! フォロー求ム!

大商大スポーツ @shodaisportscenter

大阪商業大学 課外活動支援課 @oucsportscenter

大阪商業大学 体育会本部 @taiikukaihonbu

2023リーグ戦・入替戦回顧録

男子2部 昇格への望み 来シーズンへ6位

男子2部は、今シーズンは苦戦が続いた。来シーズンは6位を目指して奮闘する。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

男子2部 苦戦続き 2部9位

男子2部は、今シーズンは苦戦が続いた。来シーズンは6位を目指して奮闘する。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

男子2部 入替戦逆転勝利で 男子2部 残留

男子2部は、入替戦で逆転勝利を収め、2部残留を果たした。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

男子2部 予選突破ならず 男子5部Bラウンド 4位

男子2部は、予選で突破できず、男子5部Bラウンドで4位となった。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

大一番制し V 完全



関西六大学野球秋季リーグ戦
9月2日-10月16日 マイネットスタジアム皇子山

男子2部 昇格への望み 来シーズンへ6位

男子2部は、今シーズンは苦戦が続いた。来シーズンは6位を目指して奮闘する。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

男子2部 入替戦逆転勝利で 男子2部 残留

男子2部は、入替戦で逆転勝利を収め、2部残留を果たした。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

男子2部 予選突破ならず 男子5部Bラウンド 4位

男子2部は、予選で突破できず、男子5部Bラウンドで4位となった。

1部昇格を逃したものの、来シーズンは6位を目指して奮闘する。チームの士気は高く、来季は1部昇格を達成したい。

関西学生男子団体



第70回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(男子)
11月4日 羽曳野市立総合スポーツセンターはびきのコロシアム

「特別国民体育大会(燃ゆる感動かこしま国体)ウエイトリフティング競技」
成年男子89kg級 5位 杉谷 優太(公共2・星稜国際・福井県)

「第70回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(男子)」
団体 優勝 佐藤 颯紀(経営1・仙台大学附属明成)
61kg級 優勝 杉本 航太郎(公共3・東田)
81kg級 3位 杉本 航太郎(公共3・東田)
89kg級 優勝 太田 新輝(公共4・東田)
109kg級 優勝 岩谷 梅輝(公共3・若狭東)
+109kg級 優勝 吉田 晃永(公共1・東田)

「レディースカップ第15回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会」
一般49kg級 10位 山口 桃花(公共2・舞子)

「文部科学大臣杯第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(II部)」
団体 3位

「文部科学大臣杯第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)」
団体 12位

ウエイトリフティング部 名門復活を目指す 大商大は、11月に行われた関西学生ウエイトリフティング選手権大会で男子団体の優勝を獲り、個人戦の出場選手の中から団体戦メンバーを選び、その選手のスナッチとクリーン＆ジャークのベスト記録、それぞれの順位を決定し、団体戦の順位を決めた。大商大は、61kg級・佐藤颯紀(経営1・仙台大学附属明成)がトータルで優勝して勢いをつける。

と、続く79kg級と81kg級でも得点が入り、89kg級太田新輝(公共4・東田)もクリーン＆ジャークとトータルの優勝得点を積み上げた。そして、ラスト1階級を残して、3位につけた大商大は、109kg級・吉田晃永(公共3・若狭東)がスナッチ122kg、クリーン＆ジャーク166kgをそれぞれ記録を達成し、いずれも優勝を取った。ラスト1階級を残して、3位につけた大商大は、109kg級・吉田晃永(公共3・若狭東)がスナッチ122kg、クリーン＆ジャーク166kgをそれぞれ記録を達成し、いずれも優勝を取った。

「日本学生総合選手権大会(第63回全日本学生個人選手権大会)」
3回戦敗退 小浜 守大(経済1・関西福祉科学大学)

「第38回全日本学生個人選手権大会」
男子の部 ベスト16 西村 流ガブリエル(公共2・桜丘)
4回戦敗退 辻 誠大(公共4・声屋学園)
4回戦敗退 橋 卓也(公共1・桜丘)

「第68回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体 1回戦敗退

第68回全日本学生拳法選手権大会
11月26日 エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)



全日本学生が1回戦敗退

その他の主な大会結果 (2023年7月24日~12月17日)

◆ハード野球部
「第32回関西地区大学六リーグ対抗ハード野球大会」
4位 阪神六大学選抜チーム

「全日本大学ハード野球東西対抗日本一決定戦甲子園大会」
連覇設立75周年記念

◆卓球部
「第56回全日本学生卓球大会(団体の部)」
男子団体 ベスト4

「第56回全日本学生卓球大会(個人の部)」
男子ダブルス ベスト8 住友 拓介(経済2)・曾我 拓海(公共2)
男子シングルス ベスト8 住友 拓介(経済2)

◆ボウリング部
「第44回関西学生オープンボウリング競技大会」
男子シングルス戦 9位 松盛 翔(経営2)

「第62回関西ボウリング選手権大会」
男子シングルス戦 71位 松盛 翔(経営2)
90位 須見 遼祐(経営1)
男子2チーム戦 22位(予選敗退) 関西学生Aチーム 松盛 翔(経営2)他
男子4チーム戦 19位(予選敗退) 関西学生Aチーム 松盛 翔(経営2)他

◆ソフトテニス部
「第77回全日本学生ソフトテニス選手権大会」
男子の部 2回戦敗退

「第78回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会」
男子の部 4回戦敗退 市野 颯紀(南3)・安川 利秋(公共4)
3回戦敗退 辰巳 裕二(公共3)・高友 晴樹(公共4)
3回戦敗退 松山 勇人(公共2)・赤羽 凌(公共3)

◆バスケットボール部
「関西学生バスケットボール秋期トーナメント」
4位

◆硬式庭球部
「関西学生地域テニストーナメント」
男子ダブルス 1回戦敗退 上杉 梨真(経済1)他

柔道部 中国・杭州で行われたアジア競技大会のクラッシュ競技において、男子90kg級の小松千里(公共3・三井)が日本オリンピック委員会から推薦を受け、日本代表として出場を果たした。クラッシュ競技は、上半身に胴着を着て行う、投げ技に特化した柔道に似たウスベキスタン発祥の格闘技だ。1回戦シンドで登場した小松は、対戦相手のタジキスタン代表を倒し、さらなるレポアップを目指す。文/清水真真(公共2・吹田)



まさかの男子団体1回戦敗退

日本拳法部 全日本学生拳法選手権大会が11月に大阪で行われた。大商大は、1回戦で慶応義塾大学と対戦し、3勝3敗1分で代表権を失った。大会が学生最後の大会だったが、主将の辻誠大(公共4・戸塚学園)は、けがで欠場し、副主将の沖田昇大(経済4・関西福祉科学大学)も1回戦で敗退した。大会がなかった。来季の目標は、ろん団体優勝。目標達成に向けた若武者の躍進に期待だ。文/石田優音(経営2・向陽台)

柔道部 中国・杭州で行われたアジア競技大会のクラッシュ競技において、男子90kg級の小松千里(公共3・三井)が日本オリンピック委員会から推薦を受け、日本代表として出場を果たした。クラッシュ競技は、上半身に胴着を着て行う、投げ技に特化した柔道に似たウスベキスタン発祥の格闘技だ。1回戦シンドで登場した小松は、対戦相手のタジキスタン代表を倒し、さらなるレポアップを目指す。文/清水真真(公共2・吹田)

日本拳法部 全日本学生拳法選手権大会が11月に大阪で行われた。大商大は、1回戦で慶応義塾大学と対戦し、3勝3敗1分で代表権を失った。大会が学生最後の大会だったが、主将の辻誠大(公共4・戸塚学園)は、けがで欠場し、副主将の沖田昇大(経済4・関西福祉科学大学)も1回戦で敗退した。大会がなかった。来季の目標は、ろん団体優勝。目標達成に向けた若武者の躍進に期待だ。文/石田優音(経営2・向陽台)

小松5位

柔道部 中国・杭州で行われたアジア競技大会のクラッシュ競技において、男子90kg級の小松千里(公共3・三井)が日本オリンピック委員会から推薦を受け、日本代表として出場を果たした。クラッシュ競技は、上半身に胴着を着て行う、投げ技に特化した柔道に似たウスベキスタン発祥の格闘技だ。1回戦シンドで登場した小松は、対戦相手のタジキスタン代表を倒し、さらなるレポアップを目指す。文/清水真真(公共2・吹田)

直撃! OUC 26 clubs x 3 questions

①クラブの雰囲気 ②試合前のルーティーン ③楽しいと感じる瞬間

取材/野津碧(経営1・隠岐)

体育会系26クラブそれぞれの様子をみなさん知ってもらえるように、現役クラブ生(体部団休は卒業生)に厳選した3つの質問に答えてもらいました!

◆合気道部
①養武心
②大会前は演武や乱取の稽古に集中
③昇段できたとき、大会で入賞したとき(OB談)

◆アメリカンフットボール部
①協調性+個性
②作戦など情報共有
③自分の役割を探るとき、その役割が認められたとき(OB談)

◆ウエイトリフティング部
①個性的で自由
②部員全員でミーティングをする
③自己記録や大会記録を更新したとき

◆空手道部
①大笑大
②中段がっこみ
③いい技を決めて試合で勝ったとき

◆硬式野球部
①常に競争
②全体ミーティング
③試合(オープン戦・リーグ戦・全国大会などであっても)で勝利を挙げたとき

◆カヌー部
①上昇(常勝)志向
②ジョギングやストレッチで体をつくる
③やってきたことが結果となって表れたとき(OB談)

◆硬式庭球部
①和気あいあい
②アップをして、試合が始まる前に円陣を組む
③みんな楽しく練習できているとき

◆剣道部
①基本正しく自分のペースで調整
③緊迫した空気の中で、相手から一本を取って勝負に勝つ瞬間

◆ソフトテニス部
①やるときはやる
②全員で集合して、試合に勝負イメジを高める
③点を取ってみんなで喜びるとき

◆卓球部
①切磋琢磨し合える
②円陣を組んで気合を入れる
③団体戦で一致団結し試合に臨んで勝ったとき

◆サッカー部
①活気のある雰囲気
②決まった曲を聴く
③目標に向かって頑張り、それを達成したとき

◆柔道部
①友情あふれる活気
②集中と緊張が入り混じるので、音楽を聴いてリラックス
③一本を取れる瞬間

◆準硬式野球部
①学年問わず仲がいい
②音量で音楽を聴いて球場に向かう
③試合(特に全国)で勝ったとき

◆ゴルフ部
①「楽しむ」を優先に
②新しいことをしようと思わずいつものように
③個人スポーツだから上達を実感したとき

◆自動車部
①車好き同士で楽しく交流
②サーキットを見学したりする
③みんなでツーリングしているとき

◆ボウリング部
①楽しく厳しく
②特になし
③点数が伸びたりストライクを出したとき

◆バレーボール部
①みんなの仲がいい
②実戦に近い紅白戦をして話し合う
③チームのみんなで良い雰囲気を作って勝ったとき

◆ボクシング部
①活気がある
②円陣を組んで大きく深呼吸
③試合を完結して、大きな歓声が沸いたとき

◆ラグビー部
①和気あいあい
②コミュニケーションを取る
③強い相手に勝ったとき、トライした瞬間

◆フィールドホッケー部
①完全自由型
②円陣を組んで気合を入れる
③みんなで協力してゴールを決めたとき

◆水上競技部
①優雅な泳ぎ
②決起会を開く
③できなかったことができるようになったとき

◆陸上競技部
①声の大きき日本一
②必ずYOASOBIの「祝福」を聴いて挑む
③きつい練習をみんなでやりきった瞬間

◆ライフル射撃部
①やるときはやる
②音楽を聴いておく(クラシックとか激しくないやつ)
③10点が連続で決まった後、銃を下ろしたとき

第74代 新役員紹介

12月14日に開催した体育会総会において、第74代体育会本部の新役員が承認されました。コロナが終息し、盛り上がりを見せる体育会系クラブを全力で応援すべく声を上げた3人の新役員をご紹介します。

岩田 真也(公共2・奈良朱雀) 副委員長
①星野 ②卓球 ③委員長を全力でサポートします

後山 遥(経営2・津山東) 委員長
①YOASOBI ②バドミントン ③責任を持ち、恥じぬよう頑張ります

清水 颯真(公共2・吹田) 副委員長
①TWICE&NiziU ②野球 ③協力して、恥じぬよう頑張ります

新委員長メッセージ
第74代体育会本部 委員長の後山 遥です。体育会本部と体育会系クラブとの交流の機会を大切にしながら、同じ、力を合わせて体育会クラブのサポートや行事の円滑な運営を行っています。不安なことありますが、体育会本部全員でクラブ生力でのサポートしてまいります。よろしくお願いします。お聞き合わせは体育会本部まで TEL:06-6788-7052 部室:総合体育館(北側)1階

新入生歓迎!! 「第26回いびき祭」開催

日時/2024年4月8日(月)10:30~17:00
場所/ファミリーマート前ステージ他 ※雨天決行
学内特設ステージで先輩たちがクラブ活動を熱く紹介します!

途中入部もOK 「クラブ・サークル勧誘」実施

日時/2024年4月9日(火)~12日(金)・15日(月)
10:00~15:00 ※雨天中止、予備日16日(火)・17日(水)
場所/4号館前、谷岡記念館、メインストリート (GATEWAY下に「勧誘相談所」を設置)
入部希望者は、勧誘ブースの先輩に気軽に話しかけてみよう!

学生記者大募集中

スポーツ観戦が好きあなた、一緒にクラブ生の応援に行きませんか? 大学で何かに挑戦したいあなた、一緒に「大商大スポーツ」を作りませんか?

お問い合わせは体育会本部まで
TEL:06-6788-7052
部室:総合体育館(北側)1階

「大商大スポーツ」新聞バックナンバー

2008年7月創刊の「大商大スポーツ」新聞。体育会本部と課外活動支援課で共同制作しています。前期(8月)と後期(1月)の2回発行。バックナンバーはこちらからご覧いただけます。→

「闘え! 大商大! メールマガジン」

強化育成・強化クラブの試合予定や試合結果を速報でお届けするメールマガジンです。クラブシーズン中、週に1回配信いたしますので、こちらからぜひご登録ください。→

関西地区選手権

2年連続7回目の明治神宮野球大会出場を目指す関西六大学野球連盟の大商大。関西地区大学野球選手権大会の1回戦は、近畿学生野球連盟の和歌山大学と対戦し、5-4でタイブレークを制した。

勝利の決め手は、捕手・蛭川大(商2・広陵)が放った2死3塁の2ボール2ストライクからの右前適時打。ハイレベル

な先輩投手に合わせた配給を熱心に研究している蛭川だが、この日は打撃での活躍が光った。

2年連続7回目の明治神宮野球大会出場を目指す関西六大学野球連盟の大商大。関西地区大学野球選手権大会の1回戦は、近畿学生野球連盟の和歌山大学と対戦し、5-4でタイブレークを制した。

投手では先発の主将の上田が、9回131球7安打2失点という見事な完投勝利。前日からの連投ではあったが疲れを見せない熱投で、関西地区第2代表を死守した。

つかみ取った全国の切符だったが、大商大にとって今秋の神宮球場は厳しい場所となる。神宮大会の1回戦、九州三連盟の日本文理大学に3-7で敗れ、まさかの1回戦敗退となった。

この日プロ入り前、学生最後の試合となった上田が、初回暴投で1点を失うが、初球のスライダで右野飛に打ち

取り、1球でピンチを脱し、マウンドを降りた。

7回表、ダブルプレーの間に1点を返し、さらに9回表に2点を取り4点差に追い上げるも、反撃及ばず1回戦で姿を消した。この結果に上田は「一発勝負での勝ちへの執念やこだわりをもっと強く持たないといけない」と唇をかんだ。

大学日本一達成へのバトンは、後輩たちに託された。新チームでどんなプレーを見せてくれるのか期待したい。

文/山田穂乃実(経営2・市立伊丹)



第21回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会兼第54回明治神宮野球大会関西地区第1・2代表決定戦
11月2日~5日 ほっともっとフィールド神戸

「第21回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会兼第54回明治神宮野球大会関西地区第1・2代表決定戦」
準優勝(関西五連盟第2代表)
敗退賞 上田 大河(公共4・大商大)

「第54回明治神宮野球大会」
1回戦敗退



第54回明治神宮野球大会
11月15日~20日 明治神宮野球場



10月26日に行われたプロ野球ドラフト会議で、2位指名を受けた大商大硬式野球部の両エース、右腕の上田大河(公共4・大商大)と左腕の高太(公共4・広陵)。上田は埼玉西武ライオンズから背番号「11」を、高は広島東洋カープから背番号「22」を託された。入団に当たり「1年目の目標は1軍定着。けがをしないように気をつけながら、期待されている以上に頑張りたい」と(上田)、「1軍に上がってチームの優勝に貢献できるピッチングがしたい。広島でも精一杯頑張りたい」と(高)と両名共にやる気に満ちた表情で語った。

この日プロ入り前、学生最後の試合となった上田が、初回暴投で1点を失うが、初球のスライダで右野飛に打ち

取り、1球でピンチを脱し、マウンドを降りた。

7回表、ダブルプレーの間に1点を返し、さらに9回表に2点を取り4点差に追い上げるも、反撃及ばず1回戦で姿を消した。この結果に上田は「一発勝負での勝ちへの執念やこだわりをもっと強く持たないといけない」と唇をかんだ。

大学日本一達成へのバトンは、後輩たちに託された。新チームでどんなプレーを見せてくれるのか期待したい。

文/山田穂乃実(経営2・市立伊丹)



第54回明治神宮野球大会
11月15日~20日 明治神宮野球場

9月の全関西大学空手道選手権大会で、大商大は男子団体組手で1部3位となり、一方、女子団体組手では敗者復活戦で勝利を収めた。これにより、11月の全日本大学空手道選手権大会の出場権を男女ともに獲得した。

68校が出場した全日本大学選手権の男子団体組手で大商大は、2回戦を圧勝す

ると、3回戦では強敵・日本大学を3-2で下した。この勝利でチームが良い流れに乗ったが、4回戦で明海大学に先鋒・次鋒と敗れ、中堅が善戦するも終盤に

立て続けにポイントを奪われ、タイムアットプ。1年前は3回戦敗退で日本武道館を去ったが、これを上回るベスト16で幕を閉じた。

主将の白井翔紀(公共4・大阪学芸)

全日本大学選手権 女子団体組手 5位

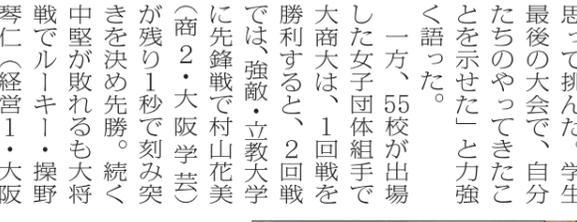


第67回全日本大学空手道選手権大会
11月19日 日本武道館

「1年後、2年後はもっと強いチームになって、まずはベスト4に残りたい。」大商大の勝負所は中段突き」と言ってもらえるように頑張りたい」と意気込みを聞くことができた。

文/知念春那(経済2・箕島)

男子団体組手 ベスト16



第64回全関西大学空手道選手権大会
9月3日 近畿大学記念会館

一方、55校が出場した女子団体組手で大商大は、1回戦を勝利すると、2回戦では、強敵・立教大学に先鋒戦で村山花美(商2・大阪学芸)が残り1秒で刻み突きを決め先勝。続く中堅が敗れるも大将戦でルーキー・操野琴仁(経営1・大阪

学芸)が逆転で打ち破った。勢いづいたまま、3回戦でも山梨学院大学を2-1で破り、迎えた準々決勝。昨大会準優勝の京都産業大学と対戦し敗れ、5位となった。

大商大空手道部の女子選手4人全員が初出場となった全日本大学選手権。憧れの夢舞台での8強入りに喜び合った。リーダーの村山から「1年後、2年後はもっと強いチームになって、まずはベスト4に残りたい。」大商大の勝負所は中段突き」と言ってもらえるように頑張りたい」と意気込みを聞くことができた。



「第64回全関西大学空手道選手権大会」
男子団体組手1部 3位
男子団体組手1部 優秀選手 白井 翔紀(公共4・大阪学芸)
女子団体組手 敗者復活戦勝利

「第67回全日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手 ベスト16
女子団体組手 5位

大阪商業大学 課外活動支援課
共同精版印刷株式会社

「1面の原稿作成とレイアウトを担当しました。初めての1面に挑戦し、書き慣れたボクシング部の記事の校了をもって、無事に発行を迎えられました。さて、1月より1年間、第74代体育会本部広報部長を務めます。どうぞよろしくお願いたします。(小柳)

「試合の写真撮影がとても難しかったです。シャッターを切るタイミングがうまく合わないことが多かった。次はもっとうまく撮りたいです。そして、取材も選手から上手に話を引き出すに苦心しました。次はしっかりと聞き出すように頑張りたいです。(清水)

「今までは先輩の隣で選手のインタビューや撮影の様子を見てきました。今回、初めて自分で実際に会場に撮影して、選手にインタビューしました。一つの記事が完成させるのにたくさんの工程が必要で大変でしたが、学ぶことが多くやりがいを感じました。(橋口)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校